

——IFRSの導入の是非 対応や、国際基準の設定組織や適用範囲など詳細を詰めるのガバナンス（体制）に対する当たつて重視する要素は。我が国の関与といった点も「欧米などの動き、国際基準重視する」

「欧米などの動き、国際基準重視する」

「欧米などの動き、国際基準重視する」

IFRSと日本

論点を聞く 3

金融庁は2012年に、国際会計基準（IFRS）を15、16年ごろに国内で幅広く導入するかどうかを判断する。導入範囲を巡り、適用を一部企業に限るべきかなどの議論が起きている。

導入の是非

——日本企業は、10年3月 準で公表したい企業とニーズ期から連結決算でIFRSをは同じだ。ニーズと体力がある企業は、欧州などで資金調達 決算へのIFRSの適用に

「国際的に事業を展開する 来年、上場企業の連結企業は、欧州などで資金調達 決算へのIFRSの適用に

限定導入、比較可能性に課題



池田 唯一氏（金融庁参事官）

「議論があることは承知しているが、比較可能性が確保できるのかという難しい問題がある。開示制度全体から考

「議論があることは承知しているが、比較可能性が確保できるのかという難しい問題がある。開示制度全体から考



辻山 栄子氏（早稲田大学教授）

「議論があることは承知しているが、比較可能性が確保できるのかという難しい問題がある。開示制度全体から考

二者択一ではなく投資家視点で

「早ければ15年にも強制適用されるかもしれないという話だけが一人歩きをしてい

「議論があることは承知しているが、比較可能性が確保できるのかという難しい問題がある。開示制度全体から考

ポイント解説

国益踏まえて議論を深めよ

日本でのIFRSの利用を巡っては、日本基準と国際基準との差をなくす「共通化」の作業が進む一方、IFRSそのものを幅広く導入すべきかどうかという議論がある。導入する場合でも、広い範囲の企業に導入するのかが対象を絞るのか、時期も一斉にするのか徐々に増やしていくのかといった議論がある。